

安保3文書の改訂

「国家の命運を左右する」

(高市総理 有識者会議での発言 4月27日)

安保3文書とは 1・国家安全保障戦略(NS S) 国家安全保障に関する最上位の文書、
2・国家防衛戦略(NDS) いかに関防衛するかの目標・アプローチ・手段の具体化、3・防衛力整備計画(DBP) いつ・どれだけ・どう整えるか・予算 ほぼ10年ごとの改定



「国家の命運が左右される」問題にもかかわらず閣議決定で決めた！民主主義的手続きを無視！

2022年12月安保3文書決定の内容

- 敵基地反撃能力・トマホーク400発取得・長射程25式地对艦誘導ミサイル(射程約1000キロ)開発(三菱重工小牧北工場)・配備(健軍駐屯地 富士駐屯地)
- 防衛予算をGDP比2%へ(約11兆円)●日英伊による次期戦闘機開発(三菱重工小牧南工場)と第3国への輸出・殺傷兵器の輸出 ●宇宙・サイバー・電磁波の拡大(領域横断作戦)

安保3文書改定の動き

自民党の提言 ①敵基地攻撃能力の強化、②軍事費2倍化、③継戦能力の確保、新しい戦い方(ドローンやAIの活用)④防衛産業の育成(弾薬製造などは政府が工場などの施設を保有「公設民営化」)

維新の提言 ①防衛費の増大(GDP比2%中長期的には3%)、②非核3原則見直し、原子力潜水艦の導入

今後 安保3文書有識者会議を月1度ほどの会議を続け秋に提言をとりまとめる。

「骨太方針 2026」

主体的に防衛力を強化するとともに外交力・経済力・情報力などの強化で総合的な国力強化をする。

・外交力の強化

進化した「自由で開かれたインド太平洋」の取り組み推進

・安全保障の強化

「新しい戦い方」に適應するため AI の活用・無人アセットの導入。スタンドオフ防衛能力の強化。

・持続的な対応能力確保に向け国内生産基盤強化。

対中国への戦争準備が進んでいる！

対中国戦争準備を止めるために

★地域で軍需産業や軍拡反対に取り組む

不戦へのネットワークの HP

★全国の心ある仲間とつながり活動をする

沖縄・西日本ネットワークの HP



三菱重工小牧北工場への抗議行動

